

2022年度 事業計画

1、はじめに

(1) 事業開始にあたって

MBT (Medicine-Based Town 医学を基礎とするまちづくり) とは、「住居医学」と「MBE」(Medicine-Based Engineering 医学を基礎とする工学・産業)の体系の統合であり、超高齢社会に対応したまちづくりを行うと共に、医学の知識を基に新産業創生および地方創生、更には社会貢献活動を行うことを目的としている。

(2) 本法人の事業価値

1) MBT (Medicine-Based Town) 医学を基礎とするまちづくり

すべての産業に医学の光をあて、介護・見守り・交通・製薬・生活支援・エネルギー・補完代替医療など、超高齢社会における産業全体に関わり連携し、医学による価値を付与した「まちづくり、産業創生、地方創生、社会貢献」を提案・実行する。

2) 新産業の創生

本法人への参画企業は、自由闊達な活動を展開することで、あらゆる産業に医学の叡智を注入しながら、異分野連携による新産業創生に取り組む。

3) 社会貢献

昨今の新型コロナウイルスの世界的感染拡大、さらには希少な疾患ゆえに社会から放置されがちな難病患者の苦境など、これらの社会課題に、医学の専門知識を活かし、社会生活や心身の安心・安全の確保に向けた活動を推進する。

以上の事業価値を見出し、超高齢社会を乗り切り、産業創生、地方創生、社会貢献を果たす為に、2022年度の具体的な事業活動については、次に掲げるものを中心として取り組む。

2、具体的事業活動の概要

(1) MBT 事業活動

1) MBT コンソーシアム全体会員会議・相談会・交流会の開催

MBT 運営方針の徹底や、MBT の部会活動・分科会活動などの諸活動や MBT 活動に関わる関連情報を、会員に報告し情報共有や会員の交流を促進することを狙いに、全体会員会議を、対面またはハイブリッド(対面+WEB)形式で開催を計画する。

コロナ禍以前では、全体会員会議を年1回東京でオープンミーティングとして実施してきていたが収束が見えぬまま、2年間会員間の対面によるミーティングができていなかった。そこで、後述の難病克服支援映画祭の東京開催に合わせて、東京でのオープンミーティングの開催を計画し、MBTのこれまでの活動や今後の進め方に対する意見交換の場を設定する。

2) 産業創生・社会貢献に向けての部会活動、分科会活動の積極的推進

図1に示す、2020年6月に再発足した10の部会活動(No.1~No.10参照)と2021年度に追加発足した2部会(No.11~No.12)の計12部会において、オープンイノベーション議論を行い分科会活動やプロジェクト活動への展開を目指す。

具体的には、新産業創出に向けての連携企業の絞り込み、また開発費の確保に向けた国や都道府県等の補助金申請や特区の申請活動などを検討し推進を図る。これらのプロセスが円滑かつ有効に進展すると判断される事案に対し予算面からも部会活動を支援する。部会は、現在の12の部会にとどまらず、産業創生、社会貢献を目指してタイムリーに新たな部会発足をを目指す。

MBTコンソーシアム部会活動状況		(2022. 2現在)	
No	部会名	分科会名	活動概要
1	感染症部会	MBTコロナ患者見守り分科会	スマホアプリを用いた患者見守り実用化
		MBT感染症外来分科会	コロナ感染予防 プレハブ型診察外来実用化
		MBTコロナ不活化分科会	オゾンなどによるコロナ除菌実用化
		MBTリンク活用見守り分科会	MBTLINKを活用した患者見守り実用化
		MBTコロナ対策・企業相談分科会	企業のコロナ対策を医学の知識を提供して無料相談
2	食品衛生部会		食の評価・医学的検定
3	アンチエイジング部会		認知症予防や進行評価
4	通信部会		次世代通信応用システム実用化
5	万博テーマ部会		万博会場実証テーマ提案
6	ビッグデータ活用部会		ビッグデータとAI連携で新ビジネス創出
7	スマートコミュニティ部会		再生エネルギー活用による新システム創出、環境改善
8	健康創造都市・健康創造産業部会		病院、オフィス、在宅の環境改善
9	MBT研究所産学連携部会		幼児から高齢者までの健康見守り実用化
10	産学金連携・フューチャースカッション部会		奈良医大と会員企業とのシーズ・ニーズマッチング
11	難病克服部会	普及分科会	ロゴマーク付き協賛商品販売による普及活動
		セミナー分科会	難病に関わる現状の啓発活動
		映画分科会	映像による難病の啓発活動
12	在宅医療部会		MBTにおける在宅医療の仕組み、ビジネスモデル検討

以下に、一部となるが部会・分科会の活動計画を示す。

①No.1 感染症部会

- ・コロナ禍は収束しておらず、引き続き推移を見守り状況に応じた活動を継続する。
- ・「MBT コロナ不活化分科会」と「MBT コロナ対策・企業相談分科会」は、本活動に関連する奈良医大発ベンチャー企業が2社誕生したので、活動の主体をそちらに譲り情報提供等の後続支援を継続する。
- ・後述の経団連が主催する「地域協創アクションプログラム」において、これまで感染症部会で実績を積み上げたコロナ感染対策の相談や現地指導の実績を経団連の

会員に対して実施する。

②No.4 通信部会

- ・部会参加企業の多くは、通信事業のみならず DX 事業に関するスキルや知見も保有しており、種々デジタル事業課題の意見交換ができる本部会の特性を活かし、タイムリーなテーマに随時対応を行う。

③No.5 万博テーマ部会

- ・関西文化学術研究都市（通称：けいはんな）とともに 2025 年国際博覧会（通称：大阪万博）の「協創パートナー」に名を連ね、“いのち輝く未来づくりのための実証実験や実装”を行う場外会場での催し取り組みを検討する。

④No.6 ビッグデータ活用部会

⑤No.7 スマートコミュニティ部会

⑥No.8 健康創造都市・健康創造産業部会

- ・健康とウェルビーイングの向上における芸術のエビデンスに関する西欧の文献が多く存在し、1) 予防と促進 (prevention and promotion) の役割、2) 管理と治療 (management and treatment) の役割、の具体事例が提示されている。
- ・そこで、健康と Well-being の向上に役立つ良質なアートを、学生、35 歳以下のアーティストやデザイナーを対象にオンラインコンベンションを開催する。そして、応募作品は奈良医大の医師・看護師、高齢者施設の介護士、患者や家族、有識者が評価し優秀作品を表彰する。
- ・そして、良質なアートを医療施設や高齢者施設に提供するエコシステム構築を目指す。

⑦No.9 MBT 研究所産学連携部会

- ・バイタルデータと気象等の環境データから個人の健康状態を推定し健康アドバイスを行う健康見守り MBT リンクシステムにおいて、非侵襲で個人が意識することなくデータ収集ができることが理想である。これらの研究を進める奈良医大 MBT 研究所と参加企業の協働で、地方自治体と連携した実証実験を通してシステムの精度や完成度を高める取り組みを実施する。

⑧No.10 産学金連携・フリーディスカッション部会

- ・MBT 活動の狙いでもある産業創生を目指して、奈良医大の研究者が保有する研究成果や現場ニーズを聞き取り、会員企業への呼びかけやマッチングに関わる打ち合わせの場設定と議論を支援する。また、その場で出た課題や調査のフォロー、新たな議論の場設定を行う。

⑨No.11 難病克服部会

- ・希少な疾患ゆえに社会から放置されがちな難病患者の苦境を多くの人に理解いただく啓発活動として「難病克服キャンペーン」を引き続き実施する。
- ・3つの取り組みを継続して実施する。
 - i) 協賛企業の募集・・・キャンペーンの趣旨に賛同して、協賛キャンペーンロゴマークを自社商品に印刷やシール貼りする、ホームページなどでもキャンペーンを PR 支援してもらえる企業を募集（費用負担は発生しない）する。

- ii) 難病克服支援 WEB セミナーの開催・・・難病に関わる研究者・医療介護者や患者支援者の活動を知らせ難病への理解を深めてもらうセミナーを実施する。
- iii) 難病克服支援映画祭の開催・・・映像を通して難病の理解を深めてもらい患者や関係者を勇気づける映画祭を、第1回に引き続き、第2回を東京で実施を目指す。

⑩No.12 在宅医療部会

・団塊世代の後期高齢者化、医療や介護費のさらなる拡大などの削減対策として、在宅医療が注目されている。これまでも種々在宅医療のシステム形態が提案されているが、ビジネスとしての成立する提案には至っていない。MBT 活動の枠内で、会員企業と医療者連携の議論を行う中で、社会貢献やビジネスモデルを芽づくりを検討する。

3) 社会貢献活動

①経団連が主催する「地域協創アクションプログラム」に参加

本プログラムは、地域経済の持続可能な活性化に向けて様々な主体間での地域協創が必要として、経団連が地方創生の実現に向けた取り組み方針を示し、それに基づく様々な連携パートナーづくりを支援するものである。その中には10項目のプログラムが示され、その1つの「医療・育児・介護・移動などを健やかで快適な暮らしの基盤を協創する」のテーマに、奈良県立医科大学と MBT コンソーシアムが連携先に選ばれた。現在のコロナ禍を鑑み「地域活性化のための医学的に正しいコロナ対策の推進」のタイトルテーマで社会貢献の役目を果たす活動を推進する。さらには、医産連携による日本経済再生、自治体連携による地域活性化・地方創生、難病克服キャンペーン、在宅医療などで経団連会員との取り組みを提案する。

②奈良県が主催する「大和平野中央スーパーシティ構想」に参加

奈良県は、交通アクセスが良く人が集まりやすい大和平野中央部（川西町、三宅町、田原本町）において、若者や女性の働く場の創出、県民の健康増進、暮らしやすさの向上を目指す「大和平野中央プロジェクト」を、国が提唱するスーパーシティ建設に格上げすべく「大和平野中央スーパーシティ構想」と称して構想検討を2021年度に開始した。そして、奈良医大&MBT コンソーシアムにも参加が要請された。MBT コンソーシアムは、会員企業と連携して奈良県が示した6分野15の候補テーマで会員とともに技術や事業化で貢献を目指す。

4) 奈良医大発ベンチャー起業支援

奈良医大の大学運営方針として、奈良医大の研究成果を論文に仕上げること及び知財出願のみならず、“アントレプレナーシップ”をもって社会に貢献する奈良医大発ベンチャーによる研究成果事業化の勧め”が示されている。

この運営方針は、奈良医大と連携して“医学を基礎とした産業創生による社会貢献”を謳う MBT コンソーシアム活動の狙いと符合するので、奈良医大発ベンチャー企業の起業計画にも参画し、その事業性を見極め、理事会への報告とともに一企業当たり30万円を上限として出資する。

5) MBT ロゴマーク付与

MBT の活動理念を体し、医学的に正しいことが確認され、大きな社会貢献が期待される会員企業様の製品やサービスに対して、申請書に基づき第三者からなる審査委員会の審査を経て、MBT ロゴマーク(右図)付与を承認する取り組みを継続実施する。

ロゴマーク使用実施契約において、使用実施料についても 2 者間協議で料率等を検討する。



<参考：これまでMBTロゴマークを付与した案件一覧（16社17件）>

MBTロゴマーク使用許諾一覧（2022年1月20現在）					
通番	令和	月	日	会社名	該当商品
1	1	6	1	昭和西川株式会社	～耳石に優しい～睡眠頭位調節マットレス
2	3	2	18	大和リース株式会社	MBT感染症外来ユニット
3	3	2	5	モード・ユニット工房株式会社	術中運動誘発電位（MEP）モニタリングに対応した弾性ストッキング
4	3	2	5	株式会社ケアコム	波形連携ナースコールシステム（SafetyNet/MBT）
5	3	2	18	レック株式会社	アルコールジェル手指消毒剤
6	3	2	18	レック株式会社	アルコール配合ウエットシート
7	3	3	8	ユーハ味覚糖株式会社	柿渋を使用したキャンディ
8	3	3	8	カバヤ食品株式会社	柿渋を使用したキャンディ
9	3	3	8	カンロ株式会社	柿渋を使用したキャンディ
10	3	5	10	春日井製菓株式会社	柿渋を使用したキャンディ
11	3	5	25	株式会社奈良ホテル	New Normal Party Plan
12	3	6	25	グラストップ株式会社	ガラスコーティング剤「GT-Aa系」
13	3	7	18	やまと真空工業株式会社	銅合金応用商品（マスク&仕切り板）
14	3	7	26	株式会社フジ医療器	トレビ・クリアゼロ（Fwo-3）
15	3	7	26	株式会社オーク製作所	スマートエキシマランプによるオゾン発生器
16	3	8	3	有限会社サンスバル	バスター 8 10ppm 他4点
17	3	12	22	ゼノン株式会社	ZENON 特殊アルカリ電解水（pH12.7）

6) 各種の催しや展示会への参加

MBT 活動内容や活動成果を国内外の関係者に PR するため、学会や種々の催し、展示会等には積極的に参加する。

(2) MBT 広告宣伝活動

1) 「MBT ニュースレター」の発行

MBT の種々イベント、会員会議、部会や分科会の活動、等々の諸活動について、タイムリーな情報をニュースレターとしてまとめ、MBT コンソーシアム会員や奈良医大教職員やOB・OG、更にはMBTの活動に深い関心を持つ一般の方々にも、メールや印刷配布を行う。

2) ジャーナル「MBT CONSORTIUM」の発行

「MBT ニュースレター」で紹介した情報の集約や、MBT 活動の特集記事など、MBT 活動に関わる関係諸情報などを冊子にまとめ、会員のみならず国内外の関係者に配布広報し、MBT 活動の理解を深めていただくこと、更には活動参加を呼び掛けることを狙いに、年 2 回の発刊を予定する。

3) イベント等に対応した広告の実施

MBT 活動で実施のイベントにおいて、MBT の活動の狙いや取り組み内容を、一般の皆様、さらには首都圏の官庁関係者や企業人などを対象に、地下鉄や電車の中吊り広告、新聞広告、SNS（ツイッター、フェースブック、インスタグラム等）を実施する。また、活動の動画情報をホームページや YouTube にアップし紹介する。

<参考：2021 年度 You Tube、ホームページにアップした活動紹介事例>

2022 年 2 月 MBT 映画祭の受賞作品、佳作作品の動画映像。

2022 年 2 月 MBT 映画祭の記録映像。

4) デジタルサイネージの活用による広告の実施

会員企業のクオール㈱と連携して、直営調剤薬局のデジタルサイネージを活用“健康情報や MBT の活動情報の提供”を目的で実施。

5) 会員掲示板の実施

会員間の情報交流（新製品情報、会員ニーズ・シーズの紹介、会員からの連絡事項等）に一役を買う形で、メールベースの会員掲示板を実施。

6) その他、広報活動

MBT の活動が、地域にとどまらず全国レベルで知名度や活動範囲を広めていくことを狙いに、MBT 紹介資料や入会案内パンフレットを活用して会員の新規入会に向けた広報活動を実施する。

(3) MBT 運営活動（奈良医大と連携し、本法人の事業運営を行う活動を含む）

1) 奈良医大への委託研究

MBT 活動の基礎となる種々研究、部会活動や個々の会員からの医学知識を必要とする相談対応への協力などを MBT 研究所に委託する。

2) 奈良医大との共同事業活動

奈良医大と本法人の双方に共通の利益をもたらす広告宣伝やイベントなどの諸活動等を実施する。

<参考：2021 年度共同事業活動>

2021/5, 8 奈良医大医学科&看護学科同窓会へ MBT ニュースレター配布

2021/9、2022/3 難病克服支援 WEB セミナー（2 回実施分）

2022/1 難病克服支援 MBT 映画祭

以上

2022 年度収支予算

2022年度MBTコンソーシアム予算計画

単位：千円

収入			支出		
科目	明細	金額	科目	明細	金額
繰越金		3,000	広告宣伝費	ジャーナル(年2回) その他広告 (車内中吊り、新聞、SNS他)	70 800 870
会費収入	250口×5万円	12,500	事業活動費	ロゴマーク付与活動費 各種展示会参加費 部会・分科会活動補助費 オープンミーティング 難病Webセミナー MBT映画祭 ベンチャー出資費(30万円×3社) 奈良医大共同事業予備費	400 500 200 300 1,200 5,000 900 600 9,100
事業補助収入		3,800	事業運営費	会議費 (ZOOM契約、会場費他) 奈良医大研究委託費 奈良医大施設借受費 通信費・郵送費 商標出願・登録費 顧問報酬・交通費 事務局人件費	500 500 300 300 100 700 2,500 4,900
雑収入	ロゴマーク使用料	300	次年度繰越		4,730 4,730
合計		19,600	合計		19,600

奈良医大と
共同折半事業